



つじむら
辻村
(明和)

たける
岳瑠



ケアラー支援条例制定について

問 当市もケアラー支援条例を制定し、ケアラーへの支援を充実させることで安心して暮らせる社会を実現できると考えるが、いかがか。

部長 ケアラー支援条例の制定は現時点では考えていない。重層的支援体制整備事業の多機関協働による支援で複雑化、複合化した福祉課題の解決に取り組む。

意見 歴史的にみても初めて体験する大介護時代、保健福祉部だけで取り組むのではなく、社会福祉が社会インフラの一部であるといった意味で、市民一丸となる理念でケアを与える側への支援が必要だと考えるが、いかがか。

葛飾北斎「山下白雨」の活用について

問 山下白雨は富士宮から描いた説がある。町のシンボル、アート思考を育み学びの機会に提

供できないか伺う。

市長 私は、この絵を観て、剣ヶ峰、左側の稜線から、富士宮から描いたものだと思っている。

副市長 富士山は信仰の対象、芸術の源泉である。北斎の絵が身近となるきっかけになる。勝手連的な市民活動も含めて応援出来たらと思う。

教育長 芸術鑑賞の機会を再度学校に周知するとともに、積極的な参加勧奨を進めていく。

国道469号精進川工区、工事未着手について

問 工事着手が延期になった理由と今後工事着手を確実にするための対策について伺う。

部長 すべての用地買収に至らなかったため。しかし、全体計画の中では大きな遅れではないと県は判断している。国、知事に首長と連携し予算確保を特に強く訴えていく。

副市長 国の社会資本整備総合交付金の内示が少ないというのが全体的な傾向である。市長を中心に要望していきたいと思っている。



あしざわ
芦澤
(明和)

ひでのり
秀典



小学生のランドセルについて

問 今後の取組について。

教育長 令和5年4月より、国語・社会・算数・理科・英語の5教科についてデジタル教科書を導入、端末を利用してデジタル教科書を活用して家庭においても学習できるようになった。今後も効果的活用について研究を進め、ランドセルの重さの軽減に活用したい。

富士宮市内の道路事情について

問 市内には、消えたり見えにくくなったりしている路面標示や、ひび割れているような道路があることを市は認識しているか。

部長 富士宮市内の市道は全延長約1,180km、どこの路線のどの標示が薄くなっているか、どこにどのようなひび割れが生じているのかがリアルタイムには把握できていない。見えにくい路

面標示については、道路パトロールや地区要望などで確認でき次第、順次対応。令和4年度からライン通報による情報収集を、6年度から道路パトロールを週2回2班体制で行い、できる限り適切な維持管理ができるよう努めている。

中高生の海外派遣事業について

問 中高生の国際交流や研修のために人材を海外へ派遣する事業について。

部長 中学生対象事業については、異文化に触れることで国際社会に対応できる積極性を養うとともに、英語力の向上を目的に、英語圏の国ニュージーランドのオークランド市に派遣している。高校生対象事業については、国際理解意識の醸成を目的に、令和5年度はベトナムのホーチミン市を選定した。費用については、渡航費用の半額を補助、就学援助制度適用家庭等については渡航費用の全額を補助。選抜方法については、作文と面接により審査。今後も、中学生・高校生の海外事業を継続し、より多くの生徒に海外経験の機会を提供していく。